

萩市
HAGI

議会だより

2007.10.15 No.6

編集/議会だより編集委員会 発行/萩市議会
〒758-8555 萩市江向510 TEL 0838-25-3131



9

月定例会

川上地藏盆(川上)

一般質問

..... 2~7

P

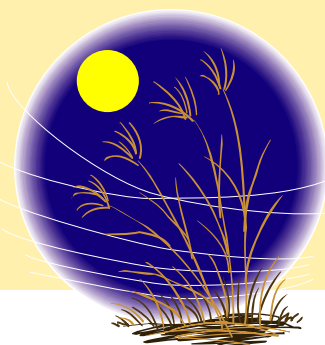
9月定例会

..... 8・9

平成18年度一般会計決算

..... 13

11月10日・11日 萩ふるさとまつり



一般質問



近江郁宣
(緑風会)

地域高規格道路・小郡萩道路の総仕上げについて

【問】地域の発展のためには道路整備が不可欠です。市長は就任以来、精力的に道路問題に取り組んでこられました。真名萩間の整備が決定されている小郡萩道路については、新山口駅に直結する整備が市民の願いです。将来に禍根を残さないよう、今のうちにルートの変更を県に要望すべきと思いますが、市長の所見をお尋ねします。

備されているものです。美東町絵堂、真名間は平成二十三年の山口国体開催までの供用開始を目指し工事が進捗しています。市としては、現在、東西南北の高規格幹線道路である山陰自動車道益田、萩間、陰陽を繋ぐ小郡萩道路の早期整備促進と萩有料道路無料化に向けた取り組みが最優先と考えています。



国道262号川上山田～白馬

梶取りもとひこ 梶取素彦旧宅跡地について

【問】初代群馬県令、梶取素彦については、今なお、友好都市・前橋市の市民の高い評価があります。しかし現在、中の倉の旧宅跡地は民有地ということもあり手入れが行き届かない状況となっております。多大な業績を顕彰する意味と観光振興の上から、萩市が用地を取得し、整備・管理することはできないものか、市長の所見をお尋ねします。

【答】旧宅跡地は民有地で、その整備や管理にあたっては所有者の意向にそって考えていかなければなりません。所有者は現在、土地の譲渡を考えておられませんが、土地の貸付けや草刈りについては同意をいただいています。今後は、土地の借上げや草刈り等を行うことにより旧宅跡地の適正な管理に努めるとともに、所有者の意向を尊重しながら、また関係者と協議し、看板の設置等について検討していきたいと思えます。



平田啓一
(緑風会)

みなみ 椿南地区の開発と農業振興について

【問】椿南地区は、萩・三隅道路と萩有料道路との接続点であり、小郡萩道路の萩市内への入口でもあります。現在萩・三隅道路の延長路線である萩東道路の整備が切望されています。地理

的にも交通の便からも経済効果が期待できる商業開発が予想されます。この地域の開発と農業振興について、どのように考えておられるかお尋ねします。

【答】椿南地区は将来、基幹道路が集約される地域ですので、商業施設の開発が計画されています。大屋地区は、比較的農地がまとまっており、農業振興地域に指定されています。しかし後継者のいない農地も点在しています。開発が進むと雨水が低地に流入する恐れもあります。一方、萩東道路は、山陰自動車道の一翼を担う幹線道として萩市が中心となって要望しているところですが、今後、開発計画と守るべき農地について検討し、農業振興を図っていきます。



椿南地区

すもぐ 素潜り浅海漁業者の潜水病対策について

【問】これまで潜水病の減圧障害については、圧縮空気潜水の潜水後の不適切な減圧によって引き起こされ、素潜りでの発生は極めて稀とされてきました。しかし最近の医学的研究から、素潜りにおいても減圧障害が起ることがわかってきました。萩市には、多くの浅海漁業者がおります。潜水病の現状と予防についてお尋ねします。

【答】島嶼部では、分銅（おもり20kg程度）をつけて素潜りをされています。これは20m以上の潜水が可能で、潜水病は起こり得ます。本年二月に大島の漁業者が潜水病にかかられ入院されましたが、現在は完治されています。萩市の浅海漁業者は297人で、その3/4以上が50歳以上で、あまり無理をされないこともあり、現在、潜水病の事例はありません。予防対策については、漁協等の啓蒙・啓発活動が徹底しており、定期検診も浸透してきています。



齊藤 眞治
(市民リベラル・民主党)

河川環境保全に

ついて

【問】阿武川ダムの水質について、①市独自の調査もしくは、検査の立会の現況は ②水質調査結果の情報公開は。

大井川の水質汚濁対策として、
①林地開発行為による残土処理場への許可条件に伴う苦情・条件提示など地元への説明責任は
②萩市河川環境保全条例第五条「事業者の責務」による事業への指導は。

【答】阿武川ダムの水質について、①水質汚濁防止法に基づいて県が隔月で実施しており、市独自の調査・県調査への立会はしていません ②山口県環境白書により毎年公表されています。大井川の水質汚濁対策については、①残土処分場開発時に開発業者より隣接の土地所有者・地元関係者・利害関係者等に充分な説明が行われており、地元



大井川

の要望についても誠意をもって対応されています ②7月の降雨時に濁水の苦情を受け、事業者に対応を要請しました。

二〇一一年「やまぐち国体」対策について

【問】二〇一一年に四十八年ぶりに国民体育大会が山口県で開催されます。萩市で開催される競技への市の役割から次の点について、お尋ねします。

①カヌー競技特設会場づくりに伴う、自然景観・自然環境が阻害されることのない環境保全対策 ②競技関係者・市民・観光客等への交通対策及び交通安全対策への周知について。

【答】環境保全対策については、河川法・山口県立自然公園条例・山口県内水面漁業調整規則等を遵守し、実施設計時に関係機関と事前協議を行い、許可の手続きを行うこととしています。交通安全対策については、国道262号バイパスの開通により、交通環境も以前より改善されています。今後とも国体開催に向けて、渋滞緩和対策等を市民や観光客の皆さんに対し、早い時期に周知を図ることができると考えています。



大村 越夫
(新誠会)

上津江浄水場 除マンガン装置の入札について

【問】除マンガン装置の入札は昨年六月執行され八社が応札しました。その結果、同額で三社が競合し落札率は75%でした。一番札に三社が競つというのも特異ですが、この入札に制限

価格が設けられたのも特異です。なぜ、この施設工事にだけ制限価格が設けられたのか。また、その価格はいくらであったのか、お尋ねします。

【答】萩市では一般的には最低制限価格は設定していません。この除マンガン装置は市民生活に重要な影響を及ぼすものであり、過度な競争により品質の保証が困難となる場合が予想されますので、最低制限価格を設けることとしました。最低制限価格は、今後、同様の制度を採用する時に、その額が推察される恐れがあるなど、不都合が想定されるため、公表していません。



除マンガン装置と排出された水路

浄水地の業務管理に 緩みはないか

【問】浄水地は市民の生命を支え、暮らしを守るライフラインの中でもその最たるものです。その上津江浄水地に三億三千万円を投じてマンガンを除く装置が施設整備されました。

その除マンガン装置の廃液プールより、二酸化マンガンが施設裏の藍場川に向つ公共の水路に排出されました。浄水地の業務管理は大丈夫ですか。

【答】このたび、黒い濁り水が公共の水路に流出したことにつきましては、河川関係者、地域住民の方々に、深くお詫び申し上げます。今後、再発防止に向け関係職員の管理意識の徹底、および施設維持管理マニュアルの徹底に努めていきます。





宮内 欣二
(日本共産党)

子育て支援策に思い切って予算の増額を

【問】県内で最も少子化が進んだ萩市は、子育て支援策に思い切った予算の増額が必要です。子ども医療費助成では小6年までの拡大には860万円、歯科だけなら960万円の財源でできます。妊婦健診無料を10回に増やせませんか。1000万円弱でできます。最も負担感の大きい保育料の軽減をすすめる考えはありませんか。

【答】子育て支援については、国・県において制度改正等が行われ、萩市においても同様に制度改正等を行い各種制度の拡充を行ってきました。少子化対策として、合併にあわせ保育所同時入所第二子目以降の保育料無料化も県下で二番目に実施しました。また、保育料についても国徴収基準に占める萩市の保育料徴収基準の割合は、県下でも

一番低い水準です。厳しい財政状況の中、サービスの質の維持・継続を考えると、財政負担増は困難であると考えます。

歴史民俗資料館の今後の運営をどうするか

【問】阿武川歴史民俗資料館は、ダムに沈んだ人々の暮らしとふるさとを犠牲にした貴重な資料が集められ展示されています。その数二万点余といわれています。しかし予算が無いため管理

が行き届いていません。須佐歴史民俗資料館も益田家文書や庶民の暮らしが見られます。築二十年経ち改修が必要です。今後どのように運営し充実させていかれますか。

【答】今後、二つの歴史民俗資料館は、まちじゅう博物館のうち地域博物館としての、機能の充実を図っていきます。また、来年度に機構の見直しを行い、萩博物館と同一部局とすることにより、三館の連携強化を図ります。



阿武川歴史民俗資料館



守永 忠世
(新風会)

佐々並、新茶屋企業団地の跡地利用について

【問】平成12年、旧旭村が取得し残土処理場として使用したのち造成を行い、企業団地として工場建設を行う予定であった土地が、現在遊休地となっており活用をするよう、強く要望され



佐々並 新茶屋企業団地

【答】ご指摘の土地は旧旭村から引き継いだ財産ですが、一時期、消防分遣所の予定地として検討したものの、現在は利活用の計画がありません。市有財産については、まず公益目的で活用を図り、それ以外のものは処分を行うっていく方針です。今回質問をいただいた新茶屋企業団地は、合併前より遊休地状態となっており、維持管理費も発生していますので、今後は市報やホームページを活用した公募による売却を行っていく予定としています。

「心の病、うつ病」について

【問】地方公務員に「心の病・うつ病」と女性の間で「プチュ病」が急増しています。全国の自治体を対象としたアンケートの結果によると「住民の行政を見る目が厳しくなっている」「一人当りの仕事量が増えている」等が原因の一つとして報告されています。現在、萩市職員の罹患者数、対策状況等を併せてお尋ねします。

【答】合併後、心の病による病気休暇者は16名で、うち5名が休職となりました。現在は休職者2名、休暇者1名です。予防策として、自己申告書や人事ヒアリングで悩み等をかかえる職員を早期に見出し、配置替え等により対応するとともに、特定の職員に負担がかからないよう配慮しています。療養中の職員には、随時面談を行い家族や主治医と相談しながら職場復帰に向けた対応を行っています。今年九月一日に、職員健康相談室を設置したところです。



西島孝一 (政和会)

児童・生徒の携帯電話の利用実態について

【問】最近の急激な普及により、現代社会の大きな変化が起きています。住民生活における利便性の向上の反面、悪質なサイトへのアクセスによる多額な料金請求の被害や、出会い系サイトによる事件に巻き込まれるなど、大きな社会問題も少なくありません。当市における児童・生徒の所持の状況および利用実態についてお尋ねします。

【答】九月現在、市内小学校で約5%、市内中学校で約17%の所持率です。小学校一年でも数名所持し、学年が上がるにつれほぼ増えていく傾向です。当市の所持率は、一概には言えませんが、全国的な所持率よりは低いようです。児童生徒の携帯電話の所持については、市内で学

校には原則的に持参しないことになっていきます。利用の仕方については、学校でも指導していますが、今年度七件の相談(チェーンメール等)がありました。



児童・生徒に対する携帯電話の利用上の指導について

【答】学校では携帯電話を含め「インターネットを使う時の約束」(小学生用・中学生用・保護者用)を教育委員会が作成し、各校で指導し、保護者への啓発に努めています。また、インターネット等による有害情報への対策として、昨年「山口県青少年健全育成条例」の一部が改正されました。萩市でも、萩市青少年育成市民会議の平成十九年度事業計画に携帯電話フィルタリング普及啓発が新たに追加され、青少年健全育成に係る活動が推進されています。

【問】条例を制定し、利用に制限をしている市もあると聞いています。地域・家庭・学校がそれぞれの立場において役割分担をして指導することが大切で、携帯電話使用による事件を未然に防止するため、業者の協力も不可欠です。児童・生徒の健全育成を望む者として教育現場から、現状を踏まえた対応策をお尋ねします。

担い手は確保できるのですか。

集落営農について



尾木武夫 (新志クラブ)

【問】萩市は集落営農組織の設立に向けて努力され県内では一番の進捗となつていきます。しかし、中山間地域は高齢化過疎化少子化が進んでおり、今後の設立は厳しいようです。リーダーの掘起しをどのように考えているか、また36の営農組織の

そして組織のできていない萩市の70%の水田をどのように維持管理するのかお尋ねします。

【答】営農組織の設立や運営には地域の実情に精通した者と事務経験者などが連携して推進する体制が必要です。組織内の担い手も不足していることから、事業者と事業者の仕事内容の役割分担を行うことや集落営農エリアの拡大、法人への新規就農者の就職など地域の実情に応じた創意工夫が必要です。組織化が進まない集落や小規模農家へは今後とも組織化に向けて啓発を行うとともに、第三セクターや組織への作業委託などにより地域農業を推進していきます。



益田阿武線

市・県道の改良維持管理について

【問】市民として自分達の生活圏内の草刈等は自治会でやっていますが、高齢化が進み作業にも限界があります。自治会と話し合せて市が管理する区域をきめたらどうですか。また主要地方道の益田阿武線津和野田万川線は市町村合併の際に県との約束で合併支援道扱いで改良するとの約束がありますが、その後県への要望はどうですか。

【答】合併後の道路の維持管理については、地域の実情、特性を勘案した手法で行っていますが、昨年度より業者・地域への委託業務として統一を図っている状況です。今後は、業者委託または公募認定制度も視野に入れた検討をしていきます。また合併支援道路について、県では現在、五路線八ヶ所が事業が取り組まれています。県も財政状況の厳しい中、優先順位など勘案し各地域で事業の展開をされています。益田阿武線についても整備促進を要望していきます。



松尾 義人 (新 誠 会)

三見地区漁業集落 環境整備事業につ いて

【問】漁業集落環境整備事業は、生活環境の改善による河川や海など公共水域の水質保全等の下水道整備に加え、住居環境整備や緑地広場の整備等、多面的な役割を担っており、健康で安全かつ快適な生活を営むための重要な生活基盤整備です。

事業の進捗状況と今後の整備についてお尋ねします。

【答】漁業集落環境整備事業は、集落道等の環境整備事業と生活環境整備等の集落排水事業があり、共に重要な生活基盤整備であることは、ご指摘のとおりです。事業期間を平成二十一年として進めています。集落排水事業について河川、ほ場整備および県道改修工事等に伴う管路等施工に県との調整・協議を要し、一部地区の供用開始が遅れることとなりますが、該当地区

の方々には、別途説明会を開催したいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思います。



学校跡地

学校跡地の 利用について

【問】学校の跡地は各地区の中心にあり、地域住民の思い入れも深いところで

【答】学校の跡地は各地区の中心にあり、地域住民の思い入れも深いところであります。その活用方法については要望も多く地域住民の新たな生活拠点として、誰もが安心安全に暮らせる魅力のある地域社会を形成する基盤として活用する必要があると思

校跡地を活用されるのかお尋ねします。

【答】学校跡地については、移転改築により生じたものに分けられます。その老朽度、残存耐用年数等を考慮し、さらに学校の歴史や地域において果たしてきた役割に留意し、地域の意向、類似施設の有無等を踏まえ、地域の活力の向上を主眼に活用方策を検討し、民間利用も含めた有効利用を進めていきます。なお、不要な市有財産は公募による売却、貸付等も検討していきます。



江原 任子 (公 明 党)

旧シルバー人材センターガイド班への支援について

【問】今年四月、組織・事務局が一本化され苦情相談・問い合わせなど混乱を防ぎ効果的な運営を図るため、NPO法人萩ガイド協会(市民によって組織された活動してきた五団体)が設置さ

れました。新組織でのシルバー人材センターガイド班の手当が五千円から三千円となり、急な収入減による苦情が出ています。手当の見直しへの支援策を。

【答】NPO萩観光ガイド協会員の業務に対する対価は、先に設立されたNPO萩まちじゅう博物館のガイド業務に準じて定められたものです。現在、管理をする公開文化施設は、無料で入館できる代わりにワンコイントラスト(100円信託)運動を展開していますが、来年の十月から施設の有料化を協議しており施設の管理体制も含め検討してまいります。

観光事業体に従事 する契約職員等への 生きがい対策を

【問】NPO法人会員や観光業務に従事する委託・嘱託職員の中には、他地での経験から技術を身につけ専門的知識もありながら、年数を経ても身分上の保障も得られないままの勤務状態です。結婚あるいは出産・育児・教育と経済的負担の伴う将来設計への見通しが立て易く希望の持てる環境づくりが必要です。若者定住としての支援策を。

【答】萩博物館などで専門的知識を有した方を受け入れる場合は、定年退職された方か、大学院を出て専門的知識を生かした職場で働くことを希望し一時的に待っている方などに限定してあります。ご指摘のようなことがあれば、今後検討します。



青木周弼旧宅





諸岡 皓二
(市民リベラル)

萩市の将来に向か つての財政運営に ついて

【問】借金663億円をかかえ
厳しい財政運営に取り組まれて
いる萩市にとって、市民への満
足度アップを考えますと、如何
に予算を無駄無く有効活用する
かは、市長の考え方、対応の仕
方次第で大きな差が生じます。
十八年度会計決算内容から、今
後どう対処されるのか、財政力
指数、地方債残高、経常収支比
率、実質公債費比率から説明を。

【答】十八年度決算の各種数値
は、十七年度に比して、総じて
改善の方向を示しています。し
かし、地方債残高や人件費の抑
制等は一朝一夕に改善するもの
ではありませんが、基金の取り
崩しを減らすためにも、引き続
き歳出全体の削減に取り組みま
す。しかし、すべてのものを削
減すればいいというものではな
く、定住促進や、農林水産業・

商工業の振興など、萩市にとつ
て重要な事業については、重点
的な予算配分を行っていきたく
と考えます。



山口福祉文化大学

山口文化福祉大学 に対して萩市の対 応策は？

【問】40億円を助成、一世帯22
万円負担し、民事再生となった
大学について問う。①学校法人
萩学園が孤島の土地に根抵当権
を設定し極度額15億円を㈱マイ
ダスキヤピタル社から融資を受
けている実態を市民に分かり易
く説明。②山口福祉文化大学を
支援する市民の会を発足しまし
たが、何に対しての支援なのか。

【答】スポンサーの(株)塩見ホー
ルディングスは今まで民事再生
の費用も含め相当の金額を負担
されています。例えば、学生寮
一つとっても十億円を越し、民
事再生以降の大学の運営費も十
億円を越す資金です。(株)マイダ
スキヤピタル社からの融資はこれ
らに充てられたものと思われま
す。また、市民の会は、64団体
で構成され、砂田会長の下、図
書館開放の広報などに取り組み
られています。この会とともに地
域に開かれた大学を目指すため
の諸活動を支援していきたく
思います。

【答】飲酒運転の根絶を期する
ためには、飲酒運転に対する厳
罰化と、交通安全運動等を通し
て広く市民に対して飲酒運転撲
滅の意識啓発を行うことが必要
です。今回、改正された道路交
通法(九月十九日施行)では、
罰則が現行の二倍程度に強化さ
れます。また、飲酒運転追放三
ない運動「飲んだら乗らない」
「飲むなら乗らない」「飲ませな
い」を、関係団体等の協力を得
て強力に推進していきます。



世良眞名夫
(新誠会)

松陰神社前 交通広場は

飲酒運転の根絶を

【問】お酒は、時と
して理性や適切な判
断力を鈍らせます。
飲酒運転事故による
被害者の悲しみや加
害者となった時の惨
めさを思い描き、心
のブレーキが働くよ
う、市民一人一人の
自覚を促す取り組み
の強化が、飲酒運転
の根絶に向け、重要

【問】松陰神社前交通広場は、
県事業で進められています。近
々に整備が完了する見込みです。
広場内のトイレ等の維持管理は
どうされるのですか。また、駐
車場は有料化にされる方向で検
討されていますが、どのように
されるのかお尋ねします。



松陰神社前交通広場

【答】山口県において整備が進
められている松陰神社前交通広
場は、広場内の設計変更のため、
供用開始時期を本年十二月初旬
と聞いています。交通広場の維
持管理については、萩市が管理
することで現在、山口県と協議
中です。トイレ・地下道・駐車
場等の維持管理に充てるため、
大型車両等の駐車について有料
化を図ることで進めています。

9月萩市議会定例会は、9月6日～25日の20日間の会期で開催され、平成19年度萩市一般会計補正予算(第2号)外、議案29件、議員提出議案1件を可決、認定しました。



新堀駐車場

経済委員会

- 平成18年度萩市駐車場事業特別会計決算認定について (12ページ)
- 工事請負契約の締結について
情報基盤整備(萩南東部地区)工事に係る請負契約を締結することについて、市議会の議決を求めるもの。
- 市営土地改良事業の変更について
旭地区ほか2地区の農村振興総合整備統合補助事業等に係る土地改良事業の変更について、市議会の議決を求めるもの。
- 市営土地改良事業の施行について
木間地区の中山間地域総合整備事業に係る土地改良事業の施行について、市議会の議決を求めるもの。

審査概要

平成18年度萩市駐車場事業特別会計決算認定については、特に新堀駐車場について、当初予算に計上していない緊急を要する修繕料の支出が生じ、この結果、外壁補修工事を不執行したとのこと。安全性に係る物については、会計の収支バランスに配慮の上、必要事業を厳選して、その執行に当るよう要望。

市営土地改良事業の施行については、本事業以外に農村生活環境整備として営農飲雑用水施設整備や活性化施設整備等、一体的な整備を通じて木間地区の活性化を図るもの。整備に関する施行図面の詳細説明を求めたほか、活性化施設での活動内容について質疑を交わした。

建設委員会

- 平成18年度萩市簡易水道事業特別会計決算認定について (12ページ)
- 平成18年度萩市公共下水道事業特別会計決算認定について (12ページ)
- 平成18年度萩市特定環境保全公共下水道事業特別会計決算認定について (12ページ)
- 平成18年度萩市農業集落排水事業特別会計決算認定について (12ページ)
- 平成18年度萩市漁業集落排水事業特別会計決算認定について (12ページ)
- 平成18年度萩市林業集落排水事業特別会計決算認定について (12ページ)
- 平成18年度萩市特定地域生活排水事業特別会計決算認定について (12ページ)
- 平成18年度萩市個別排水事業特別会計決算認定について (12ページ)
- 平成18年度萩市水道事業会計決算認定について (12ページ)
- 萩市一般住宅条例の一部を改正する条例
佐々並地区の教員住宅を一般住宅として管理するため、所要の改正を行うもの

審査概要

平成18年度の各事業の決算並びに整備状況について説明があり、特に農業集落排水事業では、萩地域椿南地区及び福栄地域福川地区、漁業集落排水事業では、越ヶ浜地区、三見地区、大井湊地区、大井浦地区における施設整備の状況の説明を受けました。

審査では、使用料・負担金等の滞納者への収納対策について質疑を交わし、督促・電話等による催告・戸別訪問などを行い、個々の滞納理由の把握に努められていることは評価できるものの、負担の公平性確保の観点から効果的な収納対策に取り組みたいとの意見がありました。



三見漁業環境整備事業

9月定例会

総務委員会

- 平成19年度萩市一般会計補正予算（第2号）
（10、11ページ）
- 平成18年度萩市土地取得事業特別会計決算認定について
（12ページ）
- 郵政民営化法等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
郵政民営化法等の施行に伴い、関係する条例について、所要の改正を行うもの。
- 萩市火災予防条例の一部を改正する条例
建築基準法の一部改正により構造計算適合性判定等が導入されたことに伴い、建築確認に係る手数料について、所要の改正を行うもの。
- 損害賠償の額を定めることについて
福栄総合交流促進施設における転落事故に係る損害賠償の額を定めることについて、市議会の議決を求めるもの。

審査概要

一般会計補正予算では多項目のうち、社会教育費において、新図書館長の公募に関して現図書館長との職務体制、処遇について質疑があり、採用する館長は11月1日以降、館長候補者として新図書館建設にかかる実施計画等の業務を行い、現図書館長は萩図書館の業務を行いながら、新図書館供用開始後は、採用した館長がその職務にあたるとの説明を受けました。また、土木施設災害復旧費においては、近年の局所的な集中豪雨による道路、河川の災害を未然防止する対策について説明を求めました。市内全域にわたり、業者と職員による恒常的なパトロールを実施するとともに、危険箇所を発見した場合においては、土嚢^{どのお}の設置等、必要な措置を講じるなど適切な管理に努めているとの説明がありました。



教育民生委員会

- 平成19年度萩市介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第1号）
（11ページ）
- 平成18年度萩市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算認定について
（12ページ）
- 平成18年度萩市福祉援護資金貸付事業特別会計決算認定について
（12ページ）
- 平成18年度萩市国民健康保険事業（事業勘定）特別会計決算認定について
（12ページ）
- 平成18年度萩市国民健康保険事業（直診勘定）特別会計決算認定について
（12ページ）
- 平成18年度萩市老人保健事業特別会計決算認定について
（12ページ）
- 平成18年度萩市介護保険事業（保険事業勘定）特別会計決算認定について
（12ページ）
- 平成18年度萩市介護保険事業（介護サービス事業勘定）特別会計決算認定について
（12ページ）
- 平成18年度萩市病院事業会計決算認定について
（12ページ）
- 学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴い、関係する条例について、所要の改正を行うもの。

審査概要

審査では、国民健康保険の保険料の負担軽減の観点から現状と見解を求めました。
これに対して、平成18年度は診療報酬の引き下げや大きな疾病の流行がなかったことなどにより、保険給付費に多額の不用額が生じたものの、一人当たりの医療費は増加傾向にあり、安定的な保険運営の観点から一定規模の伸びを見込んだ予算額の確保も必要である。
決算上は、基金の取り崩しはないが、一部の地域では繰り入れを行っている。
今後の医療制度改革や診療報酬の改定等、さらには平成20年度からの保険料率の統一も控え、基金の有効活用を図り、保険料の激変緩和に努めたいとの答弁を受けました。

平成19年度9月補正予算の概要

■ 一般会計

1. 補正の概要

今回の補正は、医療法人による小規模多機能型居宅介護施設建設に係る補助金、農地・水・農村環境保全向上対策事業に要する補助金、独立行政法人からの造林受託事業費、梅雨前線豪雨による土木施設の災害復旧費など当初予算編成後に国からの補助内示によるものや、補助に関する要綱・要領の確定によるものなど不測・緊急対策に要する経費が生じたものによることです。

なお、補正財源は、国庫支出金、地方債、他団体からの受託事業収入などの特定財源のほか、一般財源として財産売払収入を計上しました。

2. 補正予算額

(単位：千円)

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
30,098,689	45,082	30,143,771

3. 歳出予算のうち主なもの

(単位：千円)

費目	内容	補正額
【議会費】	<p>◎特別委員会運営事業</p> <p>福栄地域黒川に計画されている産業廃棄物最終処分場建設に関し、市民による大規模な建設反対運動がおこっている中で、市議会として、多岐にわたる問題を総合的に調査研究するための調査特別委員会を設置するもので、その必要な経費を計上する。</p> <p>財源内訳 一般財源784千円</p>	784
【老人福祉 総務費】	<p>◎老人福祉施設整備事業</p> <p>医療法人が福栄地域（旧福川小学校跡地）に整備する小規模多機能型居宅介護施設の整備に対して補助を行う。</p> <p>事業主体 医療法人社団慈生会</p> <p>総事業費 35,000千円</p> <p>補助基本額 22,500千円（国10/10）</p>	22,500
【農地費】	<p>◎農地・水・農村環境保全向上対策事業</p> <p>農業従事者の高齢化や担い手不足により、農地や農業施設の適性な管理が困難となっている農地を地域住民との共同活動により行う維持保全活動及び、地球に負荷をかけない先進的営農活動の取組みに対して支援を行う。</p> <p>財源内訳 県1,000千円、一般財源3,765千円</p> <p>交付金の負担割合 国1/2 県1/4 市1/4</p>	4,765

【造林費】	<p>◎むつみ地域市有林野管理事業</p> <p>独立行政法人緑資源機構の水源林造成事業により、むつみ地域内の市有林に造林した分収林地において、同機構の予算確定により、受託事業として除・間伐等の保育施業を行う。</p> <p>財源内訳 受託事業収入 3,075千円</p>	3,075
【図書館建設費】	<p>◎新図書館整備事業</p> <p>建設計画中の新図書館の適性な維持管理を図るためには、新図書館長が設計段階から関わる必要があることから、一般公募により有能な人材を確保する。</p> <p>財源内訳 一般財源2,084千円</p>	2,084
【土木施設災害復旧費】	<p>◎土木施設災害復旧事業</p> <p>7月12日の梅雨前線豪雨により発生した萩地域（見島地区）の土木施設災害復旧事業費</p> <p>災害内訳 補助災4件</p> <p>財源内訳 国（8/10）9,756千円、地方債2,400千円、市99千円</p>	12,255

■ 介護保険事業（保険事業勘定）特別会計

1. 補正の概要

今回の補正は、平成18年度介護保険料の剰余金及び介護給付費準備基金の利子を同基金に積立を行うことによるもの並びに平成18年度介護給付費及び地域支援事業費の確定による精算に伴い、国・県支出金、支払基金交付金の超過分にかかる返還が生じることによるものです。

2. 補正予算額

（単位：千円）

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
5,443,800	154,994	5,598,794

3. 歳出予算の内容

（単位：千円）

費目	内容	補正額
【介護給付費準備基金積立金】	<p>◎介護給付費準備基金管理事業</p> <p>決算剰余金等を介護給付費準備基金へ積み立て、将来の介護給付費の支給等に備えることにより、介護保険財政の安定化を図る。</p>	68,643
【償還金】	<p>◎償還金</p> <p>平成18年度介護給付費及び地域支援事業費の確定に伴う国・県支出金及び支払基金交付金の精算による返還金。</p>	86,351

平成18年度萩市一般会計並びに特別会計決算の概要

(単位：千円)

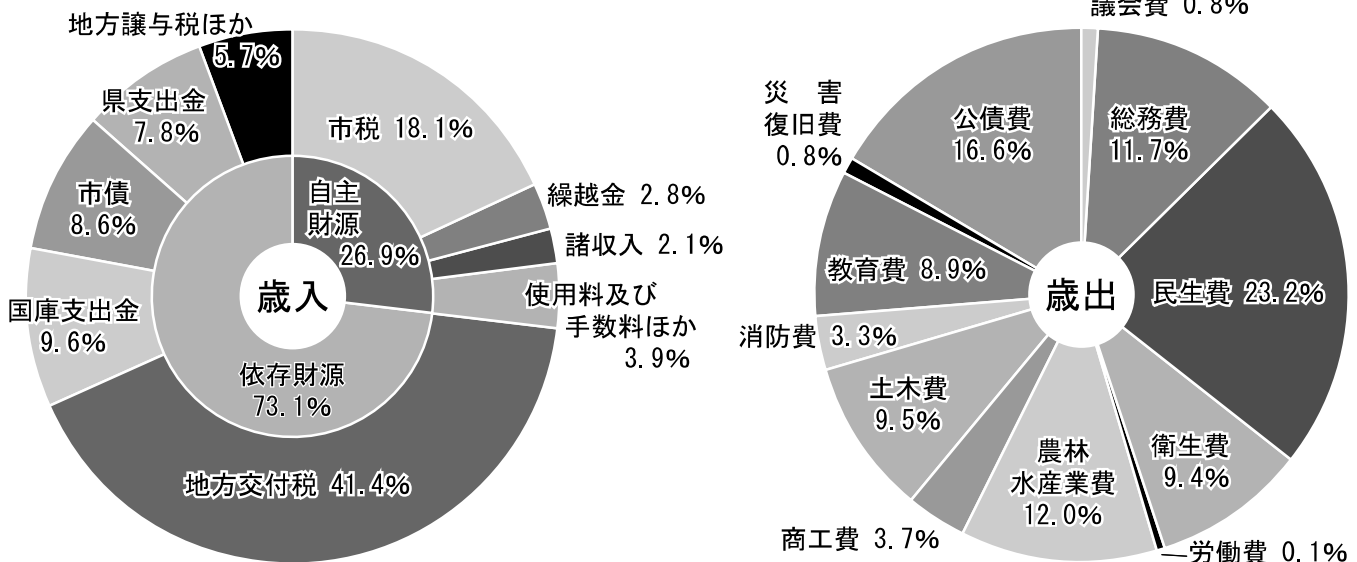
区 分	予算現額	歳 入			歳 出			歳入歳出 差引額	
		決算額	構成比 (%)	執行率 (%)	決算額	構成比 (%)	執行率 (%)		
一 般 会 計	32,548,253	31,016,864	54.0	95.3	30,740,362	54.1	94.4	276,502	
特 別 会 計	住宅新築資金等 貸付事業	4,241	14,476	0.0	341.3	4,239	0.0	100.0	10,237
	福祉援護資金 貸付事業	2,900	6,165	0.0	212.6	2,890	0.0	99.7	3,275
	土地取得事業	63,200	62,540	0.1	99.0	62,540	0.1	99.0	0
	国民健康保険事業 (事業勘定)	8,103,281	7,550,264	13.2	93.2	7,414,710	13.1	91.5	135,554
	国民健康保険事業 (直診勘定)	398,571	378,647	0.7	95.0	378,647	0.7	95.0	0
	老人保健事業	9,028,321	8,405,430	14.6	93.1	8,409,637	14.8	93.1	△ 4,207
	介護保険事業 (保険事業勘定)	5,449,575	5,307,747	9.3	97.4	5,151,796	9.1	94.5	155,951
	介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	156,031	131,898	0.2	84.5	131,898	0.2	84.5	0
	簡易水道事業	559,221	541,027	0.9	96.7	541,027	1.0	96.7	0
	公共下水道事業	2,611,133	2,497,340	4.4	95.6	2,481,916	4.4	95.1	15,424
	特定環境保全 公共下水道事業	85,229	84,061	0.2	98.6	84,061	0.1	98.6	0
	農業集落排水事業	706,043	687,022	1.2	97.3	681,766	1.2	96.6	5,256
	漁業集落排水事業	726,458	622,116	1.1	85.6	608,566	1.1	83.8	13,550
	林業集落排水事業	2,600	2,424	0.0	93.2	2,424	0.0	93.2	0
	特定地域 生活排水事業	70,531	63,479	0.1	90.0	63,479	0.1	90.0	0
	個別排水事業	10,400	9,975	0.0	95.9	9,975	0.0	95.9	0
駐車場事業	19,400	18,160	0.0	93.6	17,345	0.0	89.4	815	
小 計	27,997,135	26,382,771	46.0	94.2	26,046,916	45.9	93.0	335,855	
合 計	60,545,388	57,399,635	100.0	94.8	56,787,278	100.0	93.8	612,357	

平成18年度萩市企業会計決算

(万円以下切捨て表示)

会 計 名	収 入	支 出	収支差 (△赤字)
病院事業会計			
収益的	2 1 億 7 1 3 8 万円	2 2 億 7 3 1 万円	△ 3 5 9 3 万円
資本的	1 億 4 7 5 1 万円	2 億 7 5 1 万円	△ 6 0 0 0 万円
水道事業会計			
収益的	6 億 7 4 8 5 万円	6 億 5 4 0 4 万円	2 0 8 0 万円
資本的	8 億 7 0 3 1 万円	1 0 億 8 3 2 万円	△ 1 億 3 8 0 0 万円

平成18年度一般会計決算



一般会計決算審査特別委員会 《審査概要》

委員会では、審査方針として編成された予算が目的に沿って効果的に執行されたか、また事業効果の確認とあわせ、不用額、流用の理由等について詳細な説明をもとに審査しました。

歳出における不用額については、事務費、施設管理費等の経常経費や工事落札差金が主なものであり、財源留保に向けた成果が認められるところであるが、反面過度な節減により施設利用の際など住民サービスの低下が懸念される点もあり、十分配慮されたい。また、委託業務等については、専門的知識を要するもの以外直接行っていく方針である。各事業推進においては的確な市民ニーズの把握と、情勢変化に応じた効率的な予算配分に努める



第2リサイクルセンター

とともに、事業効果を十分検証しながら予算執行に努められたいとのことです。

平成18年度決算は、実質収支では黒字ですが、実質単年度収支は4億3千万円の赤字決算となっています。依然として進展する少子高齢化による人口減少等から、歳出に見合う財源確保は極めて厳しい状況にあり、合併特例算定期間終了後には更に20億円の財源不足が予測されます。このことから平成20年度の予算編成に当たっては、本決算審査で示された意見を十分踏まえ、産業・教育・福祉等各般にわたる振興を期すべきものとなるよう鋭意取り組まれ、特に市民生活に直接影響する事業予算については優先的に配慮されたいとの要望がありました。



御成道駐車場

可決された議員提出議案

市民生活を支える道路整備財源の確保を求める要望決議

1. 市民生活や経済・社会活動を支える重要な施設である道路については、地方が真に必要としている道路整備が計画的かつ着実に推進できるよう、中期計画に位置づけるとともに、整備のために必要な財源の確保を図ること。
 2. 自動車重量税を含む道路特定財源は、一般財源化することなく、税の目的どおりにすべて道路整備に充当すること。
 3. 地域間の交流と連携を進めるため、地域高規格道路「小郡・萩道路」の積極的な整備と絵堂～萩間の早期事業化を推進すること。
 4. 将来の山陰自動車道の当面活用となる路線としての、一般国道191号「萩・三隅道路」の早期の整備を図ること。
 5. 日本海国土軸を形成し、社会資本の整備の観点からその必要性が望まれる「山陰自動車道（益田～萩間）」を計画路線に格上げし、早期事業化を図ること。
- 以上、決議する。

平成19年9月25日

萩市議会

反対

実質単年度収支が4億2756万円の赤字です。この年度の歳入で歳出をまかなえなかったということです。

財政が逼迫すればするほど事業の効果をしっかりと見通した施策展開が必要です。その点で、田町商店街駐車場整備には大きな疑問が残ります。大型バスの受け入れのためとして整備されましたが、審査の中でバスの利用は1台しかなかったことが明らかになりました。整備の必要性、目的を見誤っているのではないかと思えます。

財政が厳しいからこそ、無駄や不要なものは省くとともに、急がないものは後に回し、市民の暮らしに直接関連する事業を優先する姿勢を貫くことが求められます。

議案第八十二号

平成十八年度萩市一般会計決算認定について

に対するそれぞれ反対・賛成の討論が行われました。

賛成多数で可決されました。

(要旨)

賛成

平成十八年度萩市当初予算は、実質的に新市誕生後、初めて新市建設計画を踏まえた上で一体的に編成された予算です。

予算執行状況を監査関係資料や今回の決算審査特別委員会を通してつぶさに審査を行いました。地方債の健全度を計る指標である「実質公債費比率」は、指標18%以上（地方債発行において国や県の許可が必要）の団体が大幅に増加している中、当萩市は17・6%とほぼ県内の平均値を示しています。また各種基金残高は確実に増加しており、財政運営の健全度を示す「経常収支比率」においても、91・4%と昨年度数値から好転しており、適切に執行された結果の決算であると確信し、本議案に賛成します。

特別委員会

中間報告

萩市の主要な施策について調査研究するため、平成十八年九月に設置

●行財政改革調査

特別委員会

本特別委員会は、「改革なくして発展なし」といった観点から効率的な財政運営や時代に即した市民サービスの提供等、現行の運営の見直しを含めた調査研究を目的に設置されたものです。設置後十三回にわたる委員会の開催をはじめ先進自治体への行政視察を実施しました。

性、また年次事業計画について各所管の進捗状況を含めた説明を求めるなど、多種多様な観点から調査研究を進めてきました。

まず、萩市行政改革大綱実施計画主要5項目についての調査概要ですが、これらにつきましては、平成21年度を目途に逐次効果を検証しつつ計画変更も含め、改革達成に向けた諸施策が実施されているところです。委員会としてチェック機関としての役割柄、実施計画の実効性と効果性について強い関心をもって継続的な見守りを続け、時代を見すえた議論の中から公平・公正な統一的な意見構築の必要性を痛感したところです。

先進地視察において、住民ニーズに即応できる行政の組織・機構づくりに職員自ら関わっていく改革意識の高さと、情報公開の中から新しいまちづくりを進めるための説明責任を果たすことの必要性を痛感させられました。



今後は、第28次地方制度調査会において、地方自治についての答申がなされるなど、全国的に地方議会のあり方が問われている現在、当萩市の「あるべき姿」を自らの課題として、議員活動の公正・透明性を確保する上からも、政治倫理条例の制定や議会改革の方向性を明確にするための議会基本条例の制定など議会改革につなげられればと思います。

●萩市主要道路整備促進調査特別委員会

萩市の経済活性の根幹を成す道路、また主要な生活道路としての役割を担う小郡萩道路及び山陰自動車道路の整備について、早期実現を図ることを目的に設置されました。

調査活動として、当委員会を述べ八回開催したほか、昨年十二月には、地元選出県議会議員三名を迎え、道路問題に関する協議会を開催し情報の共有化を図るとともに、今年一月、二月及び六月に国・県への調査並びに要望活動を三回にわたり実施しました。



しました。

高速道路網の整備は、地方都市と大都市との距離を飛躍的に短縮し、物流や人的交流の促進など、地方発展にとって必要条件であり、広域的産業の活性化と交流に不可欠なものです。現在、萩市東部の道路国道一九一号が基幹道路、生活道でありながら、隘路区間や急カーブ、狭隘な橋、危険箇所も多く交通事故発生要因となっています。また台風時、荒天時には越波による通行規制区間もあり、迂回路もなく、災害や交通事故発生時の交通遮断は消防・救急活動にも支障をきたしているところです。以上の状況をふまえ、本年一月に国土交通省山口河川国道事務所及び山口県を訪問、二月に上京し国土交通省及び山口県・島根県選出の国會議員、

広島国土交通省中国地方整備局を訪れ、萩市民の切実な声を伝え山陰自動車道の早期整備と道路整備をスムーズに進め一日も早い完成を目指すためにも、道路特定財源制度を堅持し、一般財源化することのないよう併せて強く要望したところです。

産業廃棄物処分場建設問題調査特別委員会設置される

福栄地域の黒川・羽賀台地区において民間事業者による「産業廃棄物最終処分場」建設が計画されています。

この計画地は集落が近接している地域であり、特に湧水を飲料水源としていることから直接市民生活に悪影響をもたらすことも懸念されています。

市民が将来にわたって安心して暮らせ、素晴らしい歴史と自然豊かな萩市を後世に継承すべき観点から、建設反対の立場で調査研究を進めるため、平成十九年九月七日設置されました。

- 委員長 柴田保央
- 副委員長 齊藤眞治
- 委員 岡 通夫・中村洋一
- 西島孝一・藤田克弘
- 宮内欣二・横山賢治



交通安全教室

田万川
地域



川上夏まつり

川上
地域



萩博物館企画展 君と竜宮城へ

萩
地域



弥富地区敬老会

須佐
地域



阿武萩和牛共進会

むつみ
地域



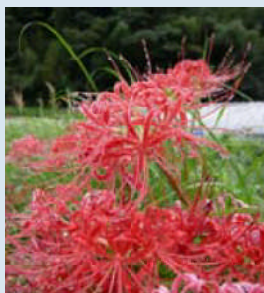
鮎のつかみどり大会

旭
地域



上野山八幡宮秋まつり奉納相撲

福栄
地域



に来るのか。見極める私たちの力が試される。

今年のソバは順調だ。(み)

つれづれなるままに



「あなたのふるさとなります」と宣言して始めたわが村おこしも十五年。昨年はじめの移住を受け入れ七人家族が来た。初めての運動会に溶け込んでいた。世はまさに田舎暮らし、ロハス、地旅がもてはやされる。田舎紀行も増えた。何を求めて田舎

蔓珠沙華の花に露が光り、その向こうにソバ畑の白い花が広がる村の秋。せせらぎの音がすぐ下に聞こえる茅葺民家に東京から青年が来た。都会の環境が体を蝕んだという。「田舎の村で療養し、勉強に打ち込みたい。」青年は突然来て、一週間で川を下った。古い家の臭いが耐えられないと。

- 編集後記
- 各地で、色々な形で敬老行事が行われたようです。話題になるのは高齢化率の事です。高齢者の方の滲刺とした姿や意欲的な生き方に若者に負けないエネルギーを感じました。
- またどの方も人生の年輪を感じさせる皺はあるもの、でも「良い顔」をされており、「これから行く道」このような高齢者になりたいと思いました。
- 議会だより編集委員会
- 委員長 木村 靖枝
副委員長 平田 啓一
委員 大村 任子
岡村 通夫
長岡肇 太郎
松尾 義人
宮内 欣二
守永 忠世
横山 秀二

●表紙の説明

八月二十三日、川上山田の実相寺の地藏盆で、相撲が奉納されました。これは、古くから実相寺で行われている地藏盆の行事です。地元では「大花角力」と呼ばれています。

相撲は境内に作られた特設の土俵で、夕方から始まり、子どもから大人まで地元以外の出場者もあり大歓声が上がっていました。